



沼津西ロータリークラブ週報



心の中を見つめよう 博愛をひろげるために

2011～2012年度
第21巻14号
2011年10月6日

● クラブテーマ ●
元気で魅力あるクラブにしよう

■■ 本日のプログラム ■■
米山記念館 米山奨学生卓話
シャー・アラム・モハammad様

◆◆第966例会 会長挨拶◆◆

宮島賢次 会長

財)ロータリー米山記念奨学会は、外国人留学生に奨学金を支給し支援する奨学財団です。日本の全ロータリー地区が参加する「多地区合同奉仕活動」で、全国のロータリアンからの寄付金を財源としています。理事会は、全34地区から選出された理事で構成され、年間の奨学生採用数800人、奨学金12億5,000万円は民間最大規模であり、支援した奨学生は累計約1万6,000人、出身国は世界119の国・地域に及びます。

他の奨学金制度と異なる最大の特長は「世話クラブ・カウンセラー制度」です。異国から来た奨学生一人ひとりに地域のロータリークラブから世話クラブが決められ、ロータリーとの交流の起点となります。世話クラブから選ばれたカウンセラーは、奨学生の相談役として精神面を支えます。例会に参加したり、奉仕活動や地域のイベントを体験できるのもロータリーならではの。この制度が“絆”をはぐくむ土壌となっているのです。

なぜ外国人留学生を支援するのか？というと、日本が戦後の復興へと向かいはじめた1952年。東京ロータリークラブで、海外、特にアジア諸国から優秀な学生を日本へ招き、勉学を支援する奨学事業「米山基金」の構想が発表されました。米山翁の名を冠したのは、アジア人留学生の面倒を見ていた米山翁の遺志を継ぐ最もふさわしい事業であり、偉大な足跡を残した米山翁を永遠に偲ぶことのできる「無形の金字塔」にしたいと考えた

例会場：ブケ東海 例会日：毎週木曜日
12:30点鐘 (第三木曜日-18:30)

事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Email●numawestrc@ny.thn.ne.jp

ためです。何より、その背景には、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したい、自分たちが世界の人々と友情を結ぶことができると証明したい、という当時のロータリアンたちの強い願いがあったそうです。

この事業は、多くのロータリアンの共感と賛同を得て、構想発表から5年を待たずにクラブ単独事業から全地区合同事業へと発展し、1967年には財団法人を設立。2007年には、日本の全地区によるロータリーの多地区合同奉仕活動としての手続きを完了しています。

10月のプログラム

967回12:30	ブケ東海	クラブフォーラム
10月13日(木)	奉仕プロジェクト委員会	理事会④
968回12:30	沼津東急ホテル	ガバナー公式訪問
10月18日(火)	積惟貞ガバナー	場所・曜日変更
969回12:30	ブケ東海	外部卓話
10月27日(木)	地区会員増強委員長	笠井永郷様

クラブ管理運営委員会報告

●ゲスト

1. SHAH ALAM MOHAMMAD (シャー・アラム モハammad)様：米山記念奨学生

●ビジター

1. 渡邊富夫様 (長泉RC)：米山記念奨学委員

★出席報告 (会員総数22名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
966回	21名	17名	-	80.95%
964回	21名	16名	3名	90.48%

会長	宮島賢次	幹事	杉山真一
広報委員長	尾島康夫	編集者	本村文一

●欠席者(4名)

宮口雅仁、大村保二、尾島康夫、鈴木泰次

●スマイル報告

1. 渡辺富夫様(長泉 RC) : 本日は、米山記念奨学生

の卓話をプログラムして頂き、ありがとうございました。米山記念奨学生の事業にご支援宜しくお願ひします。

2. 鈴木良則 : 長泉 RC の渡辺富夫さん、本日大変、お世話になり有難うございます。

3. M. B. D テーブル : M. B. D テーブル会の残金。全員参加、ありがとうございます！

4. 成田みちよ : 体調不良の為、早退させて頂きま

幹事報告

1. 連絡事項

①次週は、理事会がありますので、理事の方はご出席をお願い致します。

②沼津ロータリークラブより

2011年11月1日から、例会場名称が沼津東急ホテルから沼津リバーサイドホテルに変更となります。

外部卓話

Bangladesh の社会・経済構造

— 経済発展における新たな可能性 —



SHAH ALAM MOHAMMAD
(シャー・アラム
モハम्मド) 様

1. はじめに

— 「Bangladesh」という国の成り立ち —

Bangladesh は、英語の公式表記では、People's Republic of Bangladesh であり通称は Bangladesh といいます。日本語の正式国名は、Bangladesh 人民共和国であり通称「Bangladesh」であります。「Bangla (Bangla)」は「ベンガル(人)」及びベンガル語、そして Desh は「国」を意味します。つまり、「Bangladesh」は「ベンガル人の国」又は、ベンガル語の国ということになります。

18世紀のイギリス植民地支配から独立し、インドと Pakistan 誕生しました。そして、言語や宗教の違いから東西 Pakistan は対立し、インド側が1947年に独立を求めたものであります。Pakistan は「東 Pakistan」と「西 Pakistan」と2つの国に分か

れました。しかしながら、西 Pakistan (現 Pakistan) 側の一方的な(言語や経済などを含め)政策などから「独立戦争」及び「言葉の戦争1971」となりました。それに、当時、西 Pakistan (現 Pakistan) と対立していたインドが、東 Pakistan (現 Bangladesh) の独立を支持し、第3次印戦争がインドの勝利で終わった結果、いわゆる「独立戦争」を経て1971年に Bangladesh は独立しました。Bangladesh は、古くからの歴史や伝統を有する自然環境豊かな国であります。世界遺産となっている Sundarbans (森) の「Royal Bengal Tiger」自然環境のような「宝」でも知られている。世界最大の自然海(Cox's Bazaar)を Chittagong 管区にあり、人口では、世界中の Muslim 人口の約90%を超える大国であります。

2. 社会と経済構造

— 独立以降の社会経済 —

1971年独立後約40年経つが、世界中で数えられている発展途上国の1つであります。この国に関する多くの人々の印象は、「貧困国」「洪水国」「治安悪化国」または、「サイクロン国」といったものではないでしょうか。実際、Bangladesh の厳しい環境問題も経済発展を阻害する要因の1つであります。さらに、農村社会、政治、人口増加、安全保障そして、教育の問題が多く残されているとも言えるでしょう。

しかしながら、ここ20年の間に、既製服等繊維産業の発展や医薬品産業の進出などから、工業化が進み始め、次のステップへの基盤を整えつつあります。遅れていた農村社会でも、貧困の中での相互扶助をベースとする金融の仕組みが導入され、その設立者モハメド・ユヌスは、2006年のノーベル平和賞を獲得しています。加工型製造業も、海外からの投資を受け、暫時拡大しつつあります。Bangladesh は豊かな労働力を基盤に、今後の発展性が見込まれ Next 11にも数え始められるようになってい

ます。人口は、世界第7位で日本を上回るとともに、人口密度は、平方キロメートル当たり約1045人で、世界で最も密度の高い地域の1つとなっています。総人口の89.6%が Islam 教徒で、Hindu 教徒や仏教徒がこれに続き9.3%、キリスト教徒は0.6%で、その他が0.3%の構成となっています。国内生産を、産業別でみると、サービスが60%弱、工業(製造業)が20%強、農業が20%である一方、就業労働力は、農業の部分が65%で圧倒的に多い構成となっています。

3. 伝統的な農村社会

— 伝統的な農村社会におけるノクシ・カタ —
バングラデシュは、古くから伝統社会を持ち続け世界中でも「ベンガル人」のコミュニケーション力は高いと言われています。また、人材労働者としても技術的な部分とともに勤勉なことでも知られています。地域と農村、農民とグシテイー（父系血縁）、自然村小集落パラ（多数村）の形成過程のつながりにおいては、ノクシ・カタは欠かせない存在であり、バングラデシュ農村の最も代表的な社会特質として続いてきた「ノクシ・カタ」の存在であります。現在バングラデシュでは、多くのNGOが活動し様々な開発プロジェクトが進められています。そのプロジェクトのひとつが手工芸の生産と販売に関わるものであります。手工芸のプロジェクトは、貧しい生産者の生活向上を目指しています。手工芸の生産を促すと同時に国内外の市場を視野に入れて製品の市場拡大を行っています。数ある布製品の中でもバングラデシュの伝統として紹介されているのは、手織り物であるジャムダニ（JAMDANI）や刺し子布ノクシ・カタ（NAKSHI KATHA）に代表される手工芸品であります。日本でも、特定非営利活動法人シャプラニールやマザー・ハウスなど社会企業団体は、バングラデシュの伝統工芸について世界中にピーアールしています。

4. 経済発展における、今後の可能性

— UNIQLOの事例に —

現在、ユニクロ商品の80～90%は中国で生産されていますが、高い品質を維持できるよう、日本人のベテラン技術者集団編成し、海外生産工場で技術指導や品質管理を行っています。また原材料を100%買い取ることで、素材コストの引き下げに成功しています。これらの努力が実を結び、高品質な製品を大量に安く仕入れる仕組みによって、同社の収益力は増しています。

そのユニクロが、2010年7月13日、バングラデシュのグラミン銀行と提携し、9月に現地向け衣料品を企画・生産・販売するための会社を合弁で設立すると発表しました。日本外務省の発表によると、世界人口ランクの7位国のバングラデシュはマーケットとしては日本よりも大きい。ただし国民一人当たりのGDPが624ドルの発展途上国であります。今回の進出は、ビジネスを通して、貧困や衛生、教育などの社会的課題を解決を図ることを目指す「ソーシャルビジネス」と位置づけています。今回のユニクロの進出も、社会貢献を目的として、グラミン銀行の持つネットワークを活用し、貧困層向けに衣料品を1

ドル程度で販売していく。得られた収益は同国で再投資し、現地の雇用創出につながると言います。一方バングラデシュでの生産体制が整えば、人件費が上昇する中国に代わって、将来のユニクロを支える重要な拠点になると考えられます。バングラデシュへの進出は、「社会貢献」だけではなく、ユニクロのしたたかな海外戦略の一部ともいえるでしょう。

5. 終わりに

— 新たな社会団体の動きと今後の注目 —

以上のようにNext11にバングラデシュの経済発展場合は、伝統や社会的な問題から見直すことが必要であると考えられます。ただの経済発展だけではなく、その経済構造のためには「教育」の必要とより良い人材育成が必要となります。そのためには、平等に教育を受けられる権利、環境を整備し、評価を行い、即結果が現れるものではないが地道に基盤を整えていくことが、バングラデシュの経済発展につながっていく「第一歩」となるでしょう。

こうしたことに基づいて、作られたのが「The BEST (The Bangladesh Education for the Social Transpiration)」という社会的な団体であります。この団体は、日本とバングラデシュの「架け橋」として本部日本、そしてバングラデシュ支部で幅広く活動をしています。農村社会であるバングラデシュにおける教育を基にして経済発展へと繋がらなければならない。より良い人材を育成することを目指す教育課程が必要である。The BESTは、新たな教育へ取り組んでいます。伝統社会的及びその地域の文化に基づきながら新発見の道へ一歩ずつ進んでいます。



沼津西ロータリークラブ週報



心の中を見つめよう 博愛をひろげるために

2011~2012年度
第22巻15号
2011年10月13日

● クラブテーマ ●
元気で魅力あるクラブにしよう

■■ 本日のプログラム ■■
クラブフォーラム 奉仕プロジェクト委員会
理事会④

例会場：ブケ東海 例会日：毎週木曜日
12:30点鐘 (第三木曜日-18:30)

事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Email●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第967例会 会長挨拶◆◆



宮島賢次 会長

先週発表されましたノーベル平和賞は、アフリカと中東の女性3人に授与することで、途上国における女性の権利擁護と地位向上を全面的に支援する姿勢を打ち出した格好です。

「社会で女性が男性と同じ機会を得られなければ民主主義も恒久平和も達成できない」ノーベル賞委員会のヤングラン委員長は女性3人への授賞理由をそう強調しました。

受賞した3人の中の1人である西アフリカ・リベリアのエレン・サーリーフ大統領は、アフリカで初めて民主的な選挙を経て選ばれた女性指導者です。6年前に大統領に就任した時は、以前の独裁政権下の内戦で約27万人が死亡、失業率85%、識字率4割という状態でした。それから改革を始め汚職撲滅の為に財務省の全職員を解雇し、同省や司法、商務などの大臣、警察トップに女性を起用したそうです。

これは、非暴力を前面に出してきた大統領の姿勢を少し強引ながら貫いたとも言われます。日本でも、1948年に発刊された雑誌「暮しの手帖」の編集者花森安治氏が、戦後しばらくして書かれた「女性だけの政治」と題する1文に「もはや男の政治はダメだから女にまかせてみよ」いわく「昔から政治は男がやるものと決まっていた。ああでもない、こうでもないといろいろやってきたが、どうやってみたところで、戦争は次から次へと繰り返されるし、世の中の不合

理は少しも改まらないのである」とあったそうです。かのインドのガンジーが「非暴力は人間に委ねられた最大の力である」と言われました。

ノーベル平和賞は栄えある賞ながら、最近は話題性を重視したその時に目立った人選が続いていましたが、今回地道な活動家が選ばれました。本来の価値に照らされたものだと思います。しかしながら平和賞不要の平和な世界になることが望まれます。

10月のプログラム

968回 12:30	沼津東急ホテル	ガバナー公式訪問
10月18日(火)	積惟貞ガバナー	場所・曜日変更
969回 12:30	ブケ東海	外部卓話
10月27日(木)	地区会員増強委員長	笠井永郷 様

11月のプログラム

11月03日(木)	祝日休会	
970回 12:30	沼津市商工会	鯉の放流 奉仕プロジェクト委員会 理事会⑤
11月10日(木)	沼津市民文化センター	
11月20日(日)	地区大会	
972回 12:30	ブケ東海	クラブフォーラム ロー
11月24日(木)	タリー財団委員会	

クラブ管理運営委員会報告

●ビジター

1. 大野数芳様：沼津北RC

★出席報告 (会員総数22名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
967回	21名	17名	-	80.95%
965回	21名	20名	0名	95.24%

会長	宮島賢次	幹事	杉山真一
広報委員長	尾島康夫	編集者	本村文一

●欠席者(4名)

久松 但、成田みちよ、芹澤和子、鈴木博行

●他クラブへの出席者

久松 但、重光 純 (10/7 地区大会実行委員会)

鈴木博行 (10/11 沼津北 RC)

●スマイル報告

1. 名古屋輔：気の置けない仲間との、楽しいひとときでした。
2. 名古屋輔：川口さん、いつも、ありがとうございます。
3. 鈴木良則：所用につき、早退させていただきます。
4. 伊縫文哉：会社の都合で、早退させていただきます。
5. 尾島康夫：所用につき、早退させていただきます。
6. 渡邊亀一：早退します。

幹 事 報 告

1. 他クラブの例会変更等

①新富士ロータリークラブ

11月16日(水) 夜間例会 18:30～ 於：ホテルグランド富士

2. 連絡事項

①次回は、10月18日火曜日で沼津東急ホテルにての、曜日・例会場変更です。お間違えないように、お越してください。

理 事 会 報 告

1, 報告事項

GSEの受け入れが決定し、当クラブと柿田川RCと共同で一人のメンバーを受け持つ事になりました。

オランダGSEチームのWillem Dorresteiijn(ウィリアム)男性に決定し研修内容等詳細については、臨時に理事会を開催し検討したいと思います。検討内容は、

①研修内容②クラブで独自に研修日に通訳の準備

2, 協議事項

①11月度プログラム クラブ運営委員長 宮口雅仁君、プログラム担当 重光 純 君

クラブ管理運営委員会の原案どおり承認する。

②11.12月の座席表についてSAA 鈴木泰次君 提案のとおり承認する。

③11月10日(木) 鯉の放流について

予算を80,000円(鯉70,000円、原小学校への謝礼10,000円)とする。

参加者 ロータリー会員、原小学校教員2名+児童10名程度(9月29日に要請済み)

事前にマスコミへの通知について、クラブ広報委員会に対応願いたい。

④11月20日(日) 地区大会について

出席者17名、出席者は配付済みの運営組織図を確認し各自の役割を確認願いたい。

クラブフォーラム

「奉仕プロジェクト委員会について」

幹事 杉山真一

本日のクラブフォーラムは、奉仕プロジェクト委員会について討議しました。宮島会長の司会進行により、インターアクトクラブについて中心に3点について会員の意見を求めました。主な発言内容は以下のとおりです。

1. インターアクトクラブ(IAC)と当クラブとの関わりについて

・現状は定期的にIACの例会が開催されておらず、問題点は多い。

・学校が主体的に活動することが望ましいが、当面は例会にRCの会員が参加し、指導することもやむを得ないのでは。

・学校側(渡辺副校長など)とあらためてIACについて協議の場を持つことが必要では。

2. IACの資金支援について

・今年度は年間20万円で対応可能であるが、次年度海外研修が実施されると厳しい。

・一度に拠出することは負担が大きいため、海外研修に備え毎年積立をした方がよい。

3. 継続的奉仕活動(「鯉の放流」、「千本浜遊歩道の清掃」)の見直しについて

・特段意見はなく、新たな活動を求める声も聞かれませんでした。

本日の貴重なご意見を参考に、今後のクラブ運営に反映させていきたいと考えます。

----- 9 月分出席一覧 -----

久松(4, 1)	井上(⑤)+1	伊縫(3)	栗原(⑤)	宮島(⑤)+1	宮口(4)	本村(4, 1)
名古(⑤)	成田(2, 3)	大村(4, 1)	大竹(0)	尾島(4)	芹澤貞(⑤)	芹澤和(4, 1)
重光(4, 1)+1	杉山真(⑤)	杉山壽(4)	鈴木博(4,1)+1	鈴木泰(⑤)	鈴木良(4, 1)	植松(⑤)
渡辺(⑤)+1						
				例会出席%	85.71 %	地区報告%
						95.24 %

氏名(ホームクラブ出席数、他クラブ出席数)+超過出席数。丸数字はホームクラブ出席100%を示す。



沼津西ロータリークラブ週報



心の中を見つめよう 博愛をひろげるために

2011～2012年度
第 21 卷 16 号
2011 年 10 月 18 日

● クラブテーマ ●
元気で魅力あるクラブにしよう

■■ 本日のプログラム ■■
沼津東急ホテル ガバナー公式訪問
積惟貞ガバナー 場所・曜日変更

◆◆第 968 例会 会長挨拶◆◆



宮島賢次 会長

虎の門病院血液科に谷口修一という部長医師が居られ、この医師を頼ってくる患者の多くが他の病院で打つ手がないと言われた人達で、常に 100 人もの患者を抱えているそうです。血液科ですから皆さんお分かりの白血病などの「血液のがん」の患者達です。当然治療は厳しい闘いとなりますが、この医師は「生きたい」と願ってくる患者に対し「助けること」だけに集中する。「助けたいという情熱」と「必ず助けるという根性」が医師に必要なものと常々言われるそうです。

元々は、造血幹細胞の移植を得意とする方ですが、患者に掛ける負担の少ない「さい帯血ミニ移植」など独自の治療法を確立したり、患者の色々なデータから治療方法を選び出し組み合わせたりと、絶対最後まで諦めず助ける努力をするという方です。

今月は職業奉仕月間です。職業奉仕の理念は、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というモットーで表されています。このモットーはアーサー・フレデリック・シェルドンが提唱したものであり、職業奉仕は彼の考え方を、そっくりそのままロータリーが受け入れ、今日に引き継いでいる他の奉仕団体とは異なった独自の奉仕理念

例会場：ブケ東海 例会日：毎週木曜日
12:30点鐘 (第三木曜日-18:30)

事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Email●numawestrc@ny.thn.ne.jp

です。

1921 年、スコットランドのエジンバラで開催された国際大会で、シェルドンは、ロータリアンの職業は利益を得るための手段ではなく、その職業を通じて社会に奉仕するために存在するのであり、儲けを優先しようとして事業を営むことが、事業に失敗する最大の原因であると、述べています。

先に紹介した谷口医師は、経営者ではありませんのでいくら頑張ってもそれに見合う給料アップはないだろうと思います。しかし自分が出来得る最善の努力を惜しまずその職業に邁進しています。職業奉仕の見本だと思えます。今一度現代の職業奉仕理念を省みてはと考えます。

10月のプログラム

969回 12:30 ブケ東海 外部卓話
10月27日(木) 地区会員増強委員長 笠井永郷 様

11月のプログラム

11月03日(木) 祝日休会
970回 12:30 沼津市商工会 鯉の放流 奉仕プ
11月10日(木) ロジェクト委員会 理事会⑤
971回 9:30 沼津市民文化センター 地区大会
11月20日(日)
972回 12:30 ブケ東海 地区大会報告
11月24日(木) 会長・幹事・会員

会 長	宮島賢次	幹 事	杉山真一
広報委員長	尾島康夫	編 集 者	本村文一

●ゲスト

1. RI第2620地区 2011～12年度 ガバナー：
積 惟貞様 (沼津RC)
2. RI第2620地区 2011～12年度 地区幹事：
渡邊雅昭様 (沼津RC)

★出席報告 (会員総数22名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
968 回	21名	15名	-	71.43%
966 回	21名	17名	0名	80.95%

●欠席者(6名)

久松 但、本村文一、成田みちよ、尾島康夫、
重光 純、杉山壽章

●他クラブへの出席者

芹澤和子 (10/17 沼津柿田川 RC)

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①沼津柿田川ロータリークラブ

11月14日(月)→20日(日) 地区大会

11月21日(月)→23日(水) ふれあい広場

メイクアップ受付は14日(月)・21日(月)のみ。
11:30～12:30の間だけです。

2. 連絡事項

①20日(木)は例会はございません。次回の例会は
28日(木)ブケ東海です。

②11月10日(木)の鯉の放流の出欠席をご記入く
ださい。

ガバナー挨拶



第2620地区ガバナー
積惟貞(沼津RC)様

沼津北、沼津西RCを公式訪問して

やっと沼津に帰ってまいりました。明日、三島ク
ラブを訪問しますと、自分のクラブのみとなりま
す。普段何かとお支え戴き感謝申し上げます。ま

た地区大会にはさらにお力をお貸しいただくこと
になりますが、よろしくお願ひ申し上げます。

さてカルヤン・バネルジーRI会長のテーマは「
こころの中を見つめよう博愛を広めるために」で
あります。

レイ・クリンギン・スミス直前会長のカーボー
イ・ロジックを芯とする外に向かった積極性に対
して、バネルジー会長はインドの伝統的思考、「
梵我一如」の宇宙観が基本にあると勝手に推察し、
ロータリー活動のためには先ず自分自身を高めよ
とされているものと解釈いたしました。「家族
」「継続」「変化」の重点項目の中でとくに強調
されたのが「家族」でありました。「家族がコミ
ュニティーの基礎であり民族の盛衰は家庭の健全
にかかっている。」との考えはマルチン・ルター
以来職業重視とともにプロテスタントの基本的思
想でもあります。そしてこれが近代資本主義のバ
ックボーンとなりロータリーの活動もこのような
社会環境でこそ発揮できるわけです。RI会長方針
に従い、私たちもロータリー活動の中に家族の参
加を出来る限り試み、先ずは家族にロータリーに
ついてよりよく知っていただくべきであります。

さて前年度からRIの長期計画に従って中山直前
ガバナーがさまざまな当地区の方針を決定し実行
された上で私に引き継がれました。当然私はその
レールの上に乗って今年度の事業を施行する立場
と認識しておりました。

現在もその方針は変わってはおりません。しかし
本年3月の大震災で事情が変わった部分があります。
直前ガバナー会では前年度集められた基金をもと
に被災遺児に対する育英資金とファイブフォーワ
ンと称する被災クラブ救済制度を確立されました。
(残念ながら、これを支持しない地区が次々と脱落
し当地区も返還を受け、他地区の第2520・第2530
地区に二分して、過日送金いたしました。)しかし
今年度はR財団の小澤トラスティーが日本だけの東
日本震災復興日本委員会を立ち上げ、機動的に被災
地支援に取り掛かっています。今年中は諸般の
事情を踏まえ、こちらに資金を統一することが妥
当と判断しております。いずれにせよ息の長い支
援活動を継続することが必要と思われまますのでご
協力いただきたく存じます。

ところで私自身は基本的にロータリーの親睦と

職業奉仕に軸足を置いた思考の持ち主であり、例会を重視します。ロータリアンは例会に出席し自身を磨き、どこかに気高く美しい何かを持つ必要があると思います。それにはベテラン会員が出来るだけ若い会員にロータリーのあれこれを伝える努力が必要です。[縁尋機妙、多逢聖因] これは昭和の陽明学者、安岡正篤の言葉で、良い縁はさらに良い縁に繋がり、幸せに通ずるという意味だそうですが、これこそロータリーの真髄であり、ロータリアンの特典でもあります。それは皆様方一人ひとりが若者に尊敬の念を持たれるようなロータリアンを目指すべきと言うことでもあります。

沼津北クラブ 会長挨拶



沼津北RC 会長
影山 桓義様

皆様こんにちは。沼津北ロータリークラブ会長の影山です。第2620地区積ガバナーをお迎えしてのガバナー公式訪問、沼津西ロータリークラブとの合同例会です。

積ガバナー、渡邊地区幹事、公式訪問誠に有難うございます。また、沼津西ロータリークラブ会員の皆様ようこそお越し下さいました。どうぞごゆっくり例会をお楽しみ下さい。午前中の会長幹事会に於いて、ガバナー並びに地区幹事によりご指導いただきました。後程卓話で、RI会長方針、ガバナーの地区目標についてお話いただきたいと思います。

さて、私は先週水曜日、日本ロータリー創始者の米山梅吉翁が創られた東京ロータリークラブにメイクアップに行ってまいりました。何と会員数は362名、例会場は東京帝国ホテルでした。さすが90年の伝統と歴史あるクラブの例会で、私は多くのことを学んできました。特にその中で、ビジターに対する思いやりの心を感じ、強く感銘を受けて帰ってまいりました。また別の機会に、詳しくご報告出来ればと思っております。



沼津西ロータリークラブ週報



心の中を見つめよう 博愛をひろげるために

2011～2012年度
第21巻17号
2011年10月27日

● クラブテーマ ●
元気で魅力あるクラブにしよう

■■ 本日のプログラム ■■
外部卓話 地区会員増強・維持委員長
笠井永郷 様

◆◆第969例会 会長挨拶◆◆

宮島賢次 会長

先日沼津市防災講座の第3回、東大地震研究所教授古村孝志氏による講演「東海地震の強い揺れと津波に備える～東日本大震災の発生を受けて～」を公聴して来ました。

内容は大きく分けて①想定出来なかった「大連動」、②巨大津波の発生メカニズム、③東海地震・3連動地震再評価、④地震に備える、の4つでした。

想定については、過去数百年間の地震発生による津波被害のデータを組合せ10万通りの規模及び被害想定から瞬時に選択して予想警報発令ということになっているそうです。それが今回は過去の記録に無い3ヶ所の震源域でほとんど同時に起き巨大なM9.0という大地震になりました。

また、今回の特徴として震源域になるとされるプレート境界の陸地側の深い部分の他に、津波地震を起こすといわれる沖合側の浅い地域でも同時に起こった為、巨大津波になったそうです。これが今回の発生メカニズムです。

では、東海地震はといいますと3連動の話になりますが、過去には1605年の慶長地震は駿河湾から徳島沖まで伸びる南海トラフで

例会場：ブケ東海 例会日：毎週木曜日
12:30点鐘 (第三木曜日-18:30)

事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Email●numawestrc@ny.thn.ne.jp

起きた津波地震があります。次に1707年の宝永地震で、3連動でした。その後各地で誘発地震があり10年の間に各地で大きな地震がありました。またこの地震の49日後あの富士山の宝永大噴火もありました。その次に1854年の安政東海地震、その32時間後に安政東南海地震、翌年安政江戸地震と時間差のある連動が続きました。そして最近の1944年東南海地震その2年後に昭和南海地震と連動しました。この時には、東海沖では起こっていません。だから不気味なのだそうです。

また、今回の東日本の様に浅い部分でも連動すると従前想定1.5倍から2倍の巨大津波が起きる可能性があるそうです。

「備えあれば憂いなし」防げない地震に対して被害を防ぐ事に注意を喚起しなくてはなりません。

11月のプログラム

11月03日(木)	祝日休会
970回 12:30	沼津市商工会 鯉の放流 奉仕プ
11月10日(木)	プロジェクト委員会 理事会⑤
971回 9:30	沼津市民文化センター 地区大会
11月20日(日)	
972回 12:30	ブケ東海 地区大会報告
11月24日(木)	会長・幹事・会員

会 長	宮島賢次	幹 事	杉山真一
広報委員長	尾島康夫	編 集 者	本村文一

クラブ管理運営委員会報告

●ゲスト

1. 地区会員増強・維持委員長 笠井永郷 様(富士RC)

●ビジター

1. 井口賢明様：沼津北RC
2. 白鳥 篤様：沼津北RC

★出席報告（会員総数22名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
969回	21名	20名	-	95.24%
967回	21名	17名	3名	95.24%

●欠席者(1名)

成田みちよ

●他クラブへの出席者

伊縫文哉（10/22 新会員研修会）

●スマイル報告

1. 笠井永郷様（富士RC）：本日、会員増強の話をさせていただきます。
2. 本村文一：誕生日のお祝いありがとうございます。
3. 杉山壽章：誕生日のお祝いありがとうございます。
4. 久松 但：妻の誕生日のお祝いありがとうございます。
5. 栗原侑男：笠井さんお久しぶりです。卓話宜しくお願いいたします。
6. 鈴木良則：笠井さん、ようこそ。宜しくお願いします。
7. 杉山真一：笠井様、本日は宜しくお願いします。
8. 重光 純：初めての裁判員裁判の判決が、明日出ます。
9. 笠井永郷様：卓話のお礼を、スマイルでいただきました。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①沼津北ロータリークラブ

11月22日（火）→20日（日）地区大会に振替

2. 連絡事項

- ①次週11月3日（木）は、祝日休会です。
- ②次々週の11月10日（木）は、沼津市商工会にて、鯉の放流です。お間違えないように、お越しください。

③次々週は、理事会がありますので、理事の方はご出席をお願い致します。

④11月のロータリーレートは、1ドル=78円です。

外部卓話



地区会員増強・維持
委員長
笠井永郷様(富士RC)

何としても会員増強

本日は、お招きいただきまして、ありがとうございました。

沼津西RCさんは、地区で充実したクラブ運営をされていること、敬服申し上げます。このようなクラブ様で卓話とは恐れ多いのですが、役目からご勘弁ください。

本日、話をさせていただくべく出てきましたのは、ガバナーが研修セミナーの席上で会長、会員増強委員長を前に、本年純増出来なくば『頭を丸める』と宣言されたことにあります。私はガバナーの決意のほどを知るに、そんな事は絶対にさせじと、先ず第三分区は結束して会員増強に必死に取り組んでいただきたいとお願いする次第であります。

ロータリー活動は、一般に役員のみが汗をかく運動展開です。

私は、この考えがロータリー活動を阻害している原点だと思います。全ロータリークラブに蔓延している思想です。すなわち、その担当者だけが汗をかく事業展開です。いかにアクティブな委員長さんでも、1人では限度が有ります。そうです全員でやりましょう。どうか皆様方全員野球で、増強に取り組んでください。1人が1名を推薦するくらいの意気込みでお願いしたいものです。

終わりに貴クラブの益々の繁栄、ましてや会員増強が成功することを祈ってやみません。ありがとうございました。